

# 大野町全小中学校をコミュニティスクールとし

## 地域とともにある学校づくりを目指しています

コミュニティスクールとは、学校と保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、3者が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

大野町では、令和元年度から各小中学校をコミュニティスクールに指定し、学校運営協議会を中心に、「学校の課題」や「目指す子どもの姿」を共通理解し、学校と地域が一体となった学校づくりを進めています。

現在、コミュニティスクールとして、次のような活動が進められています。

### 1. 地域の教育力を活かした学校教育の充実

- 地域人材を活用した学習支援（教科学習支援、読み聞かせ、歴史講話など）
- 校外学習・地域学習の支援（米作り、柿づくり、史跡学習など）
- 豊かな心の育成・キャリア教育の推進（職業講話、職場体験など）
- クラブ・部活動の指導（講師、社会人コーチなど）
- 学校の環境整備（校庭の草刈り、樹木の剪定、花壇づくり、校内修繕など）
- 安心・安全教育への支援（交通安全指導、防犯・防災指導など）
- 学校行事への支援（体験活動講師・ふれあい活動講師など）



### 2. 地域における活動の充実

- 子どもや大人がみんなで集える活動（区民運動会、青少年育成行事など）
- 公民館関係の活動（公民館祭り、各種教室・講座など）
- 放課後、休日などの活動（学習支援・スポーツ活動など）



### 3. 地域・家庭・学校による活動の充実

- 地域行事への積極的参加や地域貢献の促進（子ども会活動、地域づくり活動など）
- 地域と学校が一体となって取り組む活動（あいさつ運動、奉仕活動など）
- 安心・安全を地域で取り組む活動（登下校の見守り、明るい家庭づくりなど）



## コミュニティスクールを核とした「地域学校協働活動」の充実を願って

地域学校協働活動とは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

大野町では令和3年度より、地域学校協働活動の本部を各地区公民館に置き、公民館運営に関わる地域の皆さんや各種団体、企業などと連携して活動を進める体制を作ってきました。

現在、学校と公民館のつなぎ役（地域学校協働活動推進員）を公民館主事が担当し、協働活動の充実を図っています。

地域の学校が求めていることや、地域の子どものをどのように育てたいかを理解いただき、地域学校協働活動への皆さんのご参加・ご協力をお願いします。

